

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】令和 2 年 7 月 2 日 (2020.7.2)

【公開番号】特開 2017-207749 (P2017-207749A)

【公開日】平成 29 年 11 月 24 日 (2017.11.24)

【年通号数】公開・登録公報 2017-045

【出願番号】特願 2017-96219 (P2017-96219)

【国際特許分類】

G 0 9 F 9/00 (2006.01)

H 0 1 L 21/336 (2006.01)

H 0 1 L 29/786 (2006.01)

G 0 2 F 1/1345 (2006.01)

G 0 2 F 1/1368 (2006.01)

H 0 1 L 51/50 (2006.01)

H 0 5 B 33/14 (2006.01)

H 0 1 L 27/32 (2006.01)

H 0 5 B 33/10 (2006.01)

H 0 5 B 33/02 (2006.01)

H 0 5 B 33/22 (2006.01)

H 0 5 B 33/06 (2006.01)

H 0 5 B 33/12 (2006.01)

G 0 9 F 9/30 (2006.01)

【 F I 】

G 0 9 F 9/00 3 3 8

H 0 1 L 29/78 6 1 2 Z

H 0 1 L 29/78 6 2 6 C

G 0 2 F 1/1345

G 0 2 F 1/1368

H 0 5 B 33/14 A

H 0 5 B 33/14 Z

H 0 1 L 27/32

H 0 5 B 33/10

H 0 5 B 33/02

H 0 5 B 33/22 Z

H 0 5 B 33/06

H 0 5 B 33/12 B

G 0 9 F 9/30 3 6 5

G 0 9 F 9/30 3 1 0

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 5 月 7 日 (2020.5.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

表示領域を有する表示装置の作製方法であって、

第 1 乃至第 7 の工程を有し、

前記第 1 の工程は、第 1 の基板の第 1 の表面上に、第 1 の層を設ける工程と、前記第 1 の層上に電極を設ける工程と、前記電極上と前記第 1 の層上に第 1 の絶縁層を設ける工程と、前記電極と重畳する領域において前記第 1 の絶縁層の一部を除去して第 1 の開口を設ける工程と、前記第 1 の絶縁層上に表示素子を設ける工程と、前記第 1 の絶縁層上と前記第 1 の開口の前記電極上とに第 2 の層を設ける工程と、を有し、

前記第 2 の工程は、第 2 の基板の第 2 の表面上に、第 3 の層を設ける工程と、前記第 3 の層の一部を除去して第 2 の開口を設ける工程と、を有し、

前記第 3 の工程は、前記第 1 の表面と前記第 2 の表面を向かい合わせ、前記第 1 の開口と前記第 2 の開口とが互いに重なる領域を有するように、接着層を介して前記第 1 の基板前記第 2 の基板とを互いに重ねる工程を有し、

前記第 4 の工程は、前記第 1 の基板を前記第 1 の層から剥離する工程を有し、

前記第 5 の工程は、前記第 1 の層と第 3 の基板とを互いに重ねる工程を有し、

前記第 6 の工程は、前記第 2 の基板を前記第 3 の層から剥離する工程を有し、

前記第 7 の工程は、前記第 3 の層と第 4 の基板とを互いに重ねる工程を有し、

前記第 3 の工程において、前記接着層は、前記接着層と前記第 2 の開口とが互いに重なる第 1 の領域を有し、前記第 2 の層は、前記第 2 の層と前記第 2 の開口とが互いに重なる第 2 の領域を有し、

前記第 6 の工程において、前記第 1 の領域の少なくとも一部の前記接着層と、前記第 2 の領域の少なくとも一部の前記第 2 の層と、が、前記第 2 の基板とともに剥離されて、前記電極の少なくとも一部が露出し、

前記第 1 の層は、第 1 の有機膜を有し、

前記第 3 の層は、第 2 の有機膜を有する、表示装置の作製方法。

【請求項 2】

請求項 1 において、

前記第 1 の層は、前記第 1 の有機膜上に第 2 の絶縁層を有する、表示装置の作製方法。

【請求項 3】

請求項 1 または 請求項 2 において、

前記第 3 の層は、前記第 2 の有機膜上に第 3 の絶縁層を有する、表示装置の作製方法。

【請求項 4】

請求項 1 乃至 3 のいずれか一項において、

前記第 1 の有機膜及び / 又は第 2 の有機膜は、感光性、及び熱硬化性の少なくとも一を有する有機材料を用いて、光照射処理、及び熱処理の少なくとも一を行うことで形成される、表示装置の作製方法。

【請求項 5】

請求項 1 乃至 4 のいずれか一項において、

前記第 4 の工程において、レーザを用いて、前記第 1 の層に光を照射して、前記第 1 の基板と、前記第 1 の層と、を分離する工程、

及び、前記第 6 の工程において、レーザを用いて、前記第 3 の層に光を照射して、前記第 2 の基板と、前記第 3 の層と、を分離する工程、

を有する、表示装置の作製方法。

【請求項 6】

表示装置を有する電子機器の作製方法であって、

前記電子機器は、バッテリー、タッチセンサ、または、筐体を有し、

前記表示装置は、請求項 1 乃至 5 のいずれか一項に記載の表示装置の作製方法によって作製されている、電子機器の作製方法。